



2025年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月4日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東
コード番号 1376 URL <https://www.kanekoseeds.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門・コンプ (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第3四半期の連結業績（2024年6月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第3四半期	41,211	7.4	368	12.1	510	16.9	285	10.3
2024年5月期第3四半期	38,374	△2.6	328	△41.8	436	△36.0	259	△48.0

(注) 包括利益 2025年5月期第3四半期 343百万円 (△0.8%) 2024年5月期第3四半期 346百万円 (△24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	25.43	—
2024年5月期第3四半期	22.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期第3四半期	44,041	24,251	55.1	2,168.40
2024年5月期	48,682	24,441	50.2	2,163.02

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 24,251百万円 2024年5月期 24,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	11.00	—	22.00	33.00
2025年5月期	—	11.00	—	—	—
2025年5月期（予想）	—	—	—	22.00	33.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	3.1	1,650	11.6	1,750	11.4	1,200	1.9	106.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年5月期3Q	11,772,626株	2024年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2025年5月期3Q	588,500株	2024年5月期	472,890株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年5月期3Q	11,232,198株	2024年5月期3Q	11,431,715株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2025年5月期3Q 106,950株、2024年5月期 66,600株) が含まれております。また、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2025年5月期3Q 86,325株、2024年5月期3Q 66,600株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年6月1日～2025年2月28日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要が好調に推移したことに加え、企業収益が総じて改善するなど緩やかな回復基調となりました。しかしながら、ウクライナや中東情勢の長期化の影響による原材料価格・エネルギー価格の高騰や関税率引き上げなどのアメリカの政策動向が、経済の不確実性を高める状況となっております。

国内農業の状況は、一部に農産物価格の上昇がみられるものの、その原因が天候不順に伴う作柄不良によるものも多く、さらには生産資材や輸送コストの上昇・高止まりにより、農家経営の厳しさは依然として緩む状況にはありません。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業・施設材事業が順調な推移となり、売上高412億11百万円で前年同期比28億36百万円(7.4%)の増収となり、利益面でも、営業利益3億68百万円で前年同期比39百万円(12.1%)増、経常利益5億10百万円で前年同期比73百万円(16.9%)増、親会社株主に帰属する四半期純利益2億85百万円で前年同期比26百万円(10.3%)増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でタマネギ種子が輸出・国内販売ともに、また、カボチャ・キャベツ種子の輸出が伸長したことから、売上高60億90百万円で前年同期比5.9%の増収となりました。利益面では、飼料作物種子関係で、輸入価格上昇分の価格転嫁が進まなかったことや、品質が低下した種子の廃棄を進めたことなどからコストアップとなり、セグメント利益2億66百万円で前年同期比33.1%減となりました。

花き事業

花き事業においては、巣ごもり消費後の需要低迷が継続したことから、ホームユース向け花苗や高価格帯商品を中心に家庭園芸資材の販売が減少し、売上高40億91百万円で前年同期比5.2%の減収となり、利益面でも、セグメント損失2億27百万円(前年同期のセグメント損失は1億56百万円)で損失は拡大いたしました。

農材事業

農材事業においては、主要取扱商品の農薬が、害虫の大量発生が多発したことによる需要の増加や価格改定により販売額が増加し、売上高202億81百万円で前年同期比8.6%の増収となり、利益面でも、セグメント利益7億64百万円で前年同期比9.8%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、農業用フィルムの更新需要や遮光資材等の販売が増加したことや、温室の完工売上高が増加したことから、売上高107億47百万円で前年同期比11.7%の増収となり、利益面でも、セグメント利益2億81百万円で前年同期比91.9%増となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、440億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億41百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、197億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して44億51百万円減少いたしました。これは主に買掛金の減少によるものであります。

なお、「資産の部」における受取手形及び売掛金の減少、また、「負債の部」における買掛金の減少は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、242億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して微減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月10日の「2024年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,599,397	3,849,013
受取手形及び売掛金	20,070,658	13,302,600
電子記録債権	1,754,644	1,593,962
商品	10,418,295	12,113,673
未収入金	2,199,467	1,266,700
その他	391,370	977,591
貸倒引当金	△21,984	△14,992
流動資産合計	38,411,849	33,088,547
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,231,587	4,341,857
その他(純額)	2,857,705	3,487,031
有形固定資産合計	7,089,293	7,828,889
無形固定資産	609,003	482,903
投資その他の資産		
その他	2,596,546	2,672,625
貸倒引当金	△24,170	△31,924
投資その他の資産合計	2,572,376	2,640,701
固定資産合計	10,270,673	10,952,494
資産合計	48,682,522	44,041,042
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,071,489	15,687,227
短期借入金	—	1,680,000
未払法人税等	121,142	6,045
その他	1,905,509	1,300,791
流動負債合計	23,098,142	18,674,065
固定負債		
退職給付に係る負債	749,268	712,982
役員株式給付引当金	82,942	86,239
その他	310,298	315,819
固定負債合計	1,142,509	1,115,041
負債合計	24,240,651	19,789,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,760,773
利益剰余金	20,541,739	20,452,820
自己株式	△693,622	△848,104
株主資本合計	23,104,608	22,856,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	891,253	961,330
為替換算調整勘定	42,611	49,942
退職給付に係る調整累計額	403,120	383,599
その他の包括利益累計額合計	1,336,985	1,394,871
非支配株主持分	276	306
純資産合計	24,441,871	24,251,935
負債純資産合計	48,682,522	44,041,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	38,374,569	41,211,322
売上原価	32,320,256	34,954,235
売上総利益	6,054,312	6,257,087
販売費及び一般管理費	5,725,715	5,888,860
営業利益	328,597	368,226
営業外収益		
受取配当金	56,253	62,710
受取家賃	53,232	55,097
為替差益	—	12,444
その他	18,780	28,876
営業外収益合計	128,267	159,128
営業外費用		
支払利息	11,179	15,476
為替差損	6,678	—
その他	2,233	1,208
営業外費用合計	20,091	16,685
経常利益	436,773	510,670
特別利益		
投資有価証券売却益	—	91,090
固定資産売却益	—	163
特別利益合計	—	91,254
特別損失		
固定資産処分損	1,593	142,316
減損損失	51,665	36,458
特別損失合計	53,258	178,775
税金等調整前四半期純利益	383,514	423,149
法人税等	124,485	137,502
四半期純利益	259,029	285,647
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	259,000	285,618

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	259,029	285,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,944	70,076
為替換算調整勘定	15,745	7,330
退職給付に係る調整額	6,690	△19,521
その他の包括利益合計	87,380	57,886
四半期包括利益	346,409	343,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,369	343,504
非支配株主に係る四半期包括利益	40	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年6月1日 至2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,750,254	4,317,769	18,683,771	9,622,774	38,374,569
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,750,254	4,317,769	18,683,771	9,622,774	38,374,569
セグメント利益又は損失(△)	398,765	△156,789	696,390	146,783	1,085,149

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,085,149
全社費用(注)	△756,552
四半期連結損益計算書の営業利益	328,597

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

種苗事業に帰属する資産において、一部の資産の使用を停止したため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当期第3四半期連結累計期間において51,665千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年6月1日 至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,090,690	4,091,612	20,281,842	10,747,177	41,211,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,090,690	4,091,612	20,281,842	10,747,177	41,211,322
セグメント利益又は損失(△)	266,760	△227,134	764,504	281,714	1,085,844

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,085,844
全社費用(注)	△717,618
四半期連結損益計算書の営業利益	368,226

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	36,458	36,458

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	359,575千円	410,304千円